

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月14日
【四半期会計期間】	第60期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
【会社名】	鈴茂器工株式会社
【英訳名】	Suzumo Machinery Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鈴木美奈子
【本店の所在の場所】	東京都練馬区豊玉北二丁目23番2号
【電話番号】	03(3993)1371
【事務連絡者氏名】	管理本部長 志賀 融
【最寄りの連絡場所】	東京都練馬区豊玉北二丁目23番2号
【電話番号】	03(3993)1371
【事務連絡者氏名】	管理本部長 志賀 融
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第2四半期 連結累計期間	第60期 第2四半期 連結累計期間	第59期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	3,940,075	4,655,381	8,186,503
経常利益 (千円)	227,279	425,197	696,016
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	155,344	161,636	468,620
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	49,887	120,759	341,241
純資産額 (千円)	11,191,467	11,510,913	11,482,775
総資産額 (千円)	13,213,485	13,610,790	13,431,094
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	23.98	24.96	72.35
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	84.7	84.5	85.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	165,628	466,279	211,494
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	62,309	41,418	192,916
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	107,985	141,282	119,188
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	6,598,493	6,936,163	6,503,270

回次	第59期 第2四半期 連結会計期間	第60期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	7.71	30.77

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業内容に重要な変更はありません。

また、Suzumo Singapore Corporation Pte. Ltd.は、重要性が乏しいため前連結会計年度には連結子会社を含めておりませんでした。第1四半期連結会計期間より新たに連結子会社としております。

この結果、2019年9月30日現在では、当社グループは、当社及び連結子会社3社により構成されることとなりました。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントを単一セグメントに変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等） セグメント情報」の「報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続くなか、個人消費は堅調に推移した一方、鉱工業生産は外需の伸び悩みや在庫の高止まりを背景に力強さを欠く動きとなり、景気全体では足踏み感が見られました。先行きについては、企業の景況感は悪化しておりますが、人手不足の深刻化や高水準の企業収益を受けて、設備投資は増加基調が続く見通しです。外需では、中国政府の景気下支え策等により輸出は増加に転じる見通しながら、世界景気が全般的に勢いを欠くなか、輸出全体の力強い回復は期待し難い状況です。

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）の売上高合計は、46億55百万円（前年同四半期比18.2%増）と前年同四半期を上回る結果となりました。国内・海外別の売上高の内訳は、国内売上高が35億16百万円（同22.6%増）、海外売上高が11億39百万円（同6.1%増）となりました。国内売上高は、主力の米飯加工機械関連事業における既存顧客への寿司ロボットの入替、および新規開発の大型機械の販売が堅調に推移したほか、消費税による駆け込み需要が想定を上回った結果、前年同四半期を上回る結果となりました。海外売上高は、アジア・オセアニア地域の売上が堅調に推移したものの、北米地域の売上高が前年度を下回り、前年同四半期に比べ微増となりました。

第2四半期連結累計期間の売上高

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	増減率
	百万円	百万円	%
国内	2,866	3,516	22.6
海外	1,073	1,139	6.1
合計	3,940	4,655	18.2

当第2四半期連結累計期間の営業利益は4億24百万円（前年同四半期比88.5%増）、経常利益は4億25百万円（同87.1%増）と前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

売上原価および販売費及び一般管理費が前年同四半期を上回ったものの、売上高の伸びが大きく、営業利益、経常利益ともに前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、退任役員に対する特別功労金を1億50百万円計上しましたが、前述の要因に加えて、退任役員の保険解約返戻金を33百万円計上した結果、1億61百万円（前年同四半期比4.0%増）となり、前年同四半期を上回る結果となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、セグメント別の記載を省略しております。

財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億79百万円増加し136億10百万円となりました。これは主に、たな卸資産が2億49百万円減少した一方で、現金及び預金が4億32百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億51百万円増加し20億99百万円となりました。これは主に、賞与引当金が1億20百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し115億10百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により1億29百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益により1億61百万円増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ4億32百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には69億36百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加額1億99百万円等による資金の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益3億10百万円、たな卸資産の減少額2億87百万円等による資金の増加により、4億66百万円の資金の増加(前年同四半期に比べ3億円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出61百万円、有形固定資産の取得による支出30百万円等による資金の減少はありましたが、保険積立金の払戻による収入1億48百万円等による資金の増加により、41百万円の資金の増加(前年同四半期は62百万円の資金の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額1億29百万円等による資金の減少により、1億41百万円の資金の減少(前年同四半期に比べ33百万円の減少)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は45百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,480,000	6,480,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式 単元株式数は100株であります
計	6,480,000	6,480,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年9月30日		6,480		1,154		982

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
鈴木節子	東京都練馬区	1,375	21.2
鈴木美奈子	東京都練馬区	813	12.6
鈴木映子	東京都目黒区	813	12.6
ガルフジャパンワン(常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	PO BOX 309, UGLAND HOUSE, GRAND CAYMAN, KY1-1104, CAYMAN ISLANDS (東京都港区港南二丁目15番1号)	668	10.3
ノーザン トラスト カンパニー(エービーエフシー)アーカイブ エイチシーアール00(常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	424	6.5
鈴茂器工取引先持株会	東京都練馬区豊玉北二丁目23番2号	294	4.5
立花証券株式会社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目13番14号	162	2.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	154	2.4
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町二丁目2番2号	121	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	91	1.4
計		4,914	75.9

(注) 2018年12月19日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、ハイクレア・インターナショナル・インベスターズ・エルエルピーが2018年10月1日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として2019年9月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
ハイクレア・インターナショナル・インベスターズ・エルエルピー	12 MANCHESTER SQUARE, LONDON, W1U 3PP, ENGLAND	361	5.6

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,900		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,456,700	64,567	同上
単元未満株式	普通株式 20,400		同上
発行済株式総数	6,480,000		
総株主の議決権		64,567	

(注) 上記「単元未満株式」には当社所有の自己株式65株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 鈴茂器工株式会社	東京都練馬区豊玉北 二丁目23番2号	2,900		2,900	0.0
計		2,900		2,900	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,503,270	6,936,163
受取手形及び売掛金	1,102,348	1,320,433
たな卸資産	1,866,377	1,617,372
その他	120,560	78,331
流動資産合計	9,592,556	9,952,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,474,962	1,420,116
土地	1,125,607	1,125,607
その他(純額)	98,018	114,026
有形固定資産合計	2,698,588	2,659,750
無形固定資産		
投資その他の資産	150,828	198,621
投資有価証券	427,007	334,435
繰延税金資産	364,147	373,956
その他	208,446	102,206
貸倒引当金	10,480	10,480
投資その他の資産合計	989,121	800,118
固定資産合計	3,838,537	3,658,489
資産合計	13,431,094	13,610,790
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,376	279,102
未払法人税等	31,472	149,172
賞与引当金	163,264	283,334
その他	399,490	381,979
流動負債合計	939,604	1,093,589
固定負債		
繰延税金負債	865	1,037
役員退職慰労引当金	16,768	7,168
退職給付に係る負債	959,130	962,977
その他	31,950	35,104
固定負債合計	1,008,714	1,006,287
負債合計	1,948,318	2,099,876

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,154,418	1,154,418
資本剰余金	982,960	982,960
利益剰余金	9,387,360	9,448,006
自己株式	3,544	3,574
株主資本合計	11,521,193	11,581,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,612	81,842
為替換算調整勘定	4,638	10,199
退職給付に係る調整累計額	164,669	154,901
その他の包括利益累計額合計	38,418	83,258
非支配株主持分	-	12,362
純資産合計	11,482,775	11,510,913
負債純資産合計	13,431,094	13,610,790

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,940,075	4,655,381
売上原価	2,050,718	2,459,085
売上総利益	1,889,357	2,196,295
販売費及び一般管理費	1,664,472	1,772,294
営業利益	224,884	424,000
営業外収益		
受取利息	635	640
受取配当金	1,550	1,883
その他	958	2,104
営業外収益合計	3,144	4,628
営業外費用		
手形売却損	60	17
売上割引	599	906
為替差損	88	2,040
その他	0	467
営業外費用合計	748	3,432
経常利益	227,279	425,197
特別利益		
投資有価証券売却益	-	894
有形固定資産売却益	688	592
保険解約返戻金	-	33,739
特別利益合計	688	35,226
特別損失		
役員特別功労金	-	150,000
特別損失合計	-	150,000
税金等調整前四半期純利益	227,968	310,423
法人税等	72,623	147,277
四半期純利益	155,344	163,145
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	1,509
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,344	161,636

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	155,344	163,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,527	39,769
為替換算調整勘定	6,290	12,383
退職給付に係る調整額	162,694	9,767
その他の包括利益合計	105,457	42,385
四半期包括利益	49,887	120,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,887	119,455
非支配株主に係る四半期包括利益	-	1,304

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	227,968	310,423
減価償却費	78,465	99,813
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,200	-
賞与引当金の増減額(は減少)	109,837	120,070
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	21,190	17,925
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,200	9,600
受取利息及び受取配当金	2,186	2,524
支払利息及び手形売却損	60	17
有形固定資産売却損益(は益)	688	592
投資有価証券売却損益(は益)	-	894
保険解約戻金	-	33,739
役員特別功労金	-	150,000
売上債権の増減額(は増加)	109,056	199,914
たな卸資産の増減額(は増加)	57,469	287,610
仕入債務の増減額(は減少)	108,997	129,355
未払費用の増減額(は減少)	28,007	19,905
未払消費税等の増減額(は減少)	43,587	63,423
未収消費税等の増減額(は増加)	-	46,394
その他	26,791	117,327
小計	334,864	621,635
利息及び配当金の受取額	2,179	2,517
手形売却に伴う支払額	60	17
役員特別功労金の支払額	-	150,000
法人税等の還付額	-	26,810
法人税等の支払額	171,355	34,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,628	466,279
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	2,968	3,140
投資有価証券の売却による収入	-	2,512
有形固定資産の取得による支出	25,803	30,407
有形固定資産の売却による収入	688	1,710
無形固定資産の取得による支出	30,512	61,439
長期前払費用の取得による支出	-	15
貸付けによる支出	-	10,000
貸付金の回収による収入	498	619
差入保証金の差入による支出	420	6,163
差入保証金の回収による収入	355	1,689
保険積立金の積立による支出	4,147	2,740
保険積立金の払戻による収入	-	148,795
投資活動によるキャッシュ・フロー	62,309	41,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	10,669	11,711
配当金の支払額	97,157	129,541
その他	158	29
財務活動によるキャッシュ・フロー	107,985	141,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,383	8,794
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	11,050	357,621
現金及び現金同等物の期首残高	6,609,543	6,503,270
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	75,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,598,493	6,936,163

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間より、重要性が増したSuzumo Singapore Corporation Pte. Ltd.を連結の範囲に含めております。

(会計上の見積りの変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
当第2四半期連結会計期間において、当社仙台営業所の旧建物の取り壊しを決定したため、利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、取り壊し予定日までの期間で減価償却が完了するように耐用年数を変更しております。 これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が23,109千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
税金費用の計算
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
商品及び製品	1,294,760千円	1,081,862千円
原材料及び貯蔵品	374,032 "	361,372 "
仕掛品	197,584 "	174,136 "

2 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形割引高	2,320千円	千円
受取手形裏書譲渡高	194,787 "	179,156 "

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
従業員給料	570,356千円	602,224千円
法定福利費	119,656 "	122,838 "
賞与引当金繰入額	164,984 "	172,182 "
退職給付費用	45,973 "	46,727 "
役員退職慰労引当金繰入額	1,200 "	1,280 "
販売促進費	85,450 "	82,697 "
旅費交通費	98,824 "	109,169 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	6,598,493千円	6,936,163千円
現金及び現金同等物	6,598,493千円	6,936,163千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	97,157	15	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	129,541	20	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当第2四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)に記載のとおりです。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社グループは、米飯加工機械関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、「米飯加工機械関連事業」「衛生資材関連事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より単一セグメントに変更しております。

この変更は、「衛生資材関連事業」の売上高及び利益の重要性が乏しく、また、当社グループの事業展開、経営管理体制、社内報告体制の実態などの観点から再検討した結果、当社グループの事業については一体とすることがより合理的であると判断したためであります。

この変更により、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	23円98銭	24円96銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	155,344	161,636
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	155,344	161,636
普通株式の期中平均株式数(株)	6,477,120	6,477,049

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(株式の取得による持分法適用関連会社化)

当社は、2019年10月16日開催の取締役会において、当社がBluefin Trading LLC(以下「Bluefin」)の株式の35%を取得することを決議し、2019年11月6日に株式取得を完了いたしました。

1. 株式取得の理由

当社は、Bluefinの株式取得により、中東地域において商品開発力と現地の流通ネットワークを持つBluefinの事業基盤と当社が持つ米飯加工ノウハウとネットワークを活かし、中東地域における日本的な米飯市場を創造することで、米飯加工機械の販売を広げていけるものと考えております。

2. 株式取得した会社の概要

- (1) 名称 : Bluefin Trading LLC
- (2) 所在地 : 14C Street, Al Quoz 4, PO Box 127512, Dubai, United Arab Emirates
- (3) 代表者の役職・氏名 : Fady Georges El-Achkar
- (4) 事業内容 : フードサービス事業 (寿司・サラダ等の製造および販売)
- (5) 資本金 : 300,000AED
- (6) 設立年月日 : 2005年6月28日

3. 株式取得の相手先の名称

Georges Rajaa Geha
Fady Georges El-Achkar

4. 投資の状況

- (1) 取得価額 : 株式取得の相手先からの要望により非公開とさせていただきます。
- (2) 取得株式数 : 105株

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月12日

鈴茂器工株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	宮 崎	哲 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	上 西	貴 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている鈴茂器工株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、鈴茂器工株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。